

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	24,25 28,37 38,48 49,55	(1)入居者様の身体的レベルダウンへの対応。 (2)古民家改装タイプのホームへの適応。	(1)①残存機能を維持させる更なる取り組みを行う。 ②現在の生活レベルを維持させる。 (2)リスクを回避する。	(1)①スタッフに認知症の勉強会を行う。 ②入居者に生きがいを持って頂くために、生活リハビリなどを働きかける。 (2)①レベルに合った家具の調整 ②居室空間の環境整備	12ヶ月
2	1,2 4,5 6,13	(1)地域との関係が薄い。	(1)地域に開かれた、また地域に根ざしたグループホームを目指して、地域との関係を深める。	(1)グループホームからの発信、働きかけを行う。 ①ホームの催しを案内し、地域の方々にも参加してもらう。 ②地域の活動状況を積極的に把握して、地域の祭り、清掃、イベント等に入居者を交えて参加できるよう、積極的に働きかけていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。